

令和 6 年度 第 3 回浜松市環境影響評価審査会 会議録

1 開催日時 令和 6 年 10 月 18 日（金） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分

2 開催場所 浜松市役所鴨江分庁舎 2 階会議室

※本会議は Web 会議方式にて開催した。Web 会議出席者は「3 出席状況」のとおり。

3 出席状況

審査会委員

出欠	役職	氏 名	所属	参加方法
○	副会長	礪村 克郎	静岡文化芸術大学 デザイン研究科 教授	WEB
○		江草 智弘	静岡大学農学部 助教	WEB
○		太田 隆之	静岡大学人文社会科学部 教授	WEB
-		岡島 いづみ	静岡大学 工学部 准教授	-
○		加須屋 真	常葉大学 社会環境学部 非常勤講師	会場
○		北村 亘	東京都市大学 環境学部 准教授	WEB
○		木寄 暁子	静岡大学 理学部 教授	WEB
○		小南 陽亮	静岡大学 教育学部 教授	WEB
○		坂田 昌弘	静岡県立大学 食品栄養科学部 名誉教授	WEB
○		島崎 康弘	豊橋技術科学大学 都市・建築システム学系 准教授	WEB
○		寺田 一美	東海大学 建築都市学部 准教授	WEB
○	会長	平井 一之	一般社団法人 静岡県環境資源協会 専務理事	会場
○		宮崎 一夫	遠州自然研究会 事務局長	会場
-		向井 貴彦	岐阜大学 地域科学部 教授	-

事務局

環境政策課	齋藤環境部次長（環境政策課長）、上野専門監、稲葉副主幹、内山主任、山本主任
-------	---------------------------------------

4 傍聴者 0 名

5 議事内容 （仮称）浜松湖西豊橋道路（静岡県区間）環境影響評価方法書について

6 会議録作成者 環境政策課企画調整グループ 山本

7 記録の方法 発言者の要点記録

8 会議資料 有

1. 開会

2. 議事 会議の公開、会議の成立について

事務局（齋藤次長） 《会議の成立確認》

《会議の公開について確認》

はじめに、会議及び会議録の公開についてお諮りする。本日の会議は公開とするがよいか。

（異議なし）

了承いただいたので、本日の審議は公開とする。

《WEB 会議における注意事項説明》

《資料の確認》

それでは、次第の 2、議事に入る。議事進行については浜松市環境影響評価条例第 60 条第 1 項により、「会長が会議の議長となる」と規定されているため、ここからの進行は平井会長にお願いします。

議事 市長意見（案）について

平井会長 それでは、議事進行をさせていただきます。

本日の会議録は、事務局で作成し、浜松市附属機関の会議録の作成および公開に関する要綱に基づき、公開することとする。

それでは議事に入る。

審査事項「（仮称）浜松湖西豊橋道路（静岡県区間）環境影響評価方法書について」を事務局から説明をお願いします。

事務局 《資料 1、資料 2、資料 3 に基づき説明》

平井会長 ただ今の説明について、ご意見・ご質問があれば承る。

磯村副会長 今回の事業は、環境影響評価制度上では、各県ごとに静岡県区間、愛知県区間として方法書手続きが行われている。ただし、予定されている道路は県境関係なく続いているものであり、静岡県側、愛知県側の審査の内容などの情報共有が必要と考える。

事務局 本道路事業において、浜松市は愛知県とは接していないことから、浜松市の立場で愛知県側について言及することは難しいと考える。ただし、愛知県でも環境影響評価審査会が実施予定であることから、情報収集の一環で傍聴を予定している。

江草委員 2 水質（1）に関して、参考資料 1 の配慮書における市長意見提出の際には、「水質の保全に配慮すること」という表現であったのに対し、今回の方法書における市長意見では「適切に調査・予測及び評価をすること」という表現である。この文末の違いは、方法書が今後の環境影響評価における、調査・予測・評価の手法論を述べたものであることに由来するという理解でよいのか。

事務局 そのとおりである。

江草委員 あわせて、参考資料 2 及び 3 の風力発電事業に対する市長意見では、水質の項目で湧水や地下水に言及されているが、今回はそれらの記載がない。これは、風力発電事業と道路事業という事業特性に因るものか。

事務局 事業特性ではなく、地域特性に因るものである。参考資料 2 及び 3 の風力発電事業は、事業予定地が浜松市天竜区龍山町、佐久間町、春野町であった。これらの地域では、湧水を利用している住人がいることから、この表現を採用している。

江草委員 承知した。これらを踏まえると、今回の水質に関する言及は、どちらかと言えば水の利用というより、河川中の生物への影響を懸念したものであるということか。

事務局 河川中の生物への影響はもちろん懸念しているが、各河川は浜名湖に接続していることも含めて、水質悪化による様々な影響を懸念しているものである。

坂田委員 2 水質（2）について、浮遊物質量や濁度と記載されているが、その他、例えば BOD 等の指標なども考えられるのではないか。

事務局 「等」をつけるなど、表現を検討する。

平井会長 意見も出尽くしたようであるので、質疑を終了する。
市長意見確定にあたり、今後の流れの説明を事務局にお願いする。

事務局 本日の議事について、追加のご意見・ご質問等ある場合は、10 月 21 日（月）までに事務局宛てに連絡をお願いする。
その後、本日の審査や追加意見を踏まえて、市長意見の修正を行い、修正案を委員の皆様へ再度お送りする。その後、会長と相談のうえで確定とさせていただく。

平井会長 これで議事は終了したので、皆様方に貴重なご意見を承ったことにお礼を述べ、進行を事務局にお返しする。

3. 閉会

事務局（齋藤次長） 本日は長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。
事務局から、連絡事項をお伝えする。

事務局 本日の会議録については、事務局で作成する。後日、内容の確認をお願いする。

事務局（齋藤次長） ≪閉会≫